

CONFIDENTIAL

# 【企画案】 がんゲノム医療に関する患者調査2023

2023年8月

株式会社インテージヘルスケア

 intage

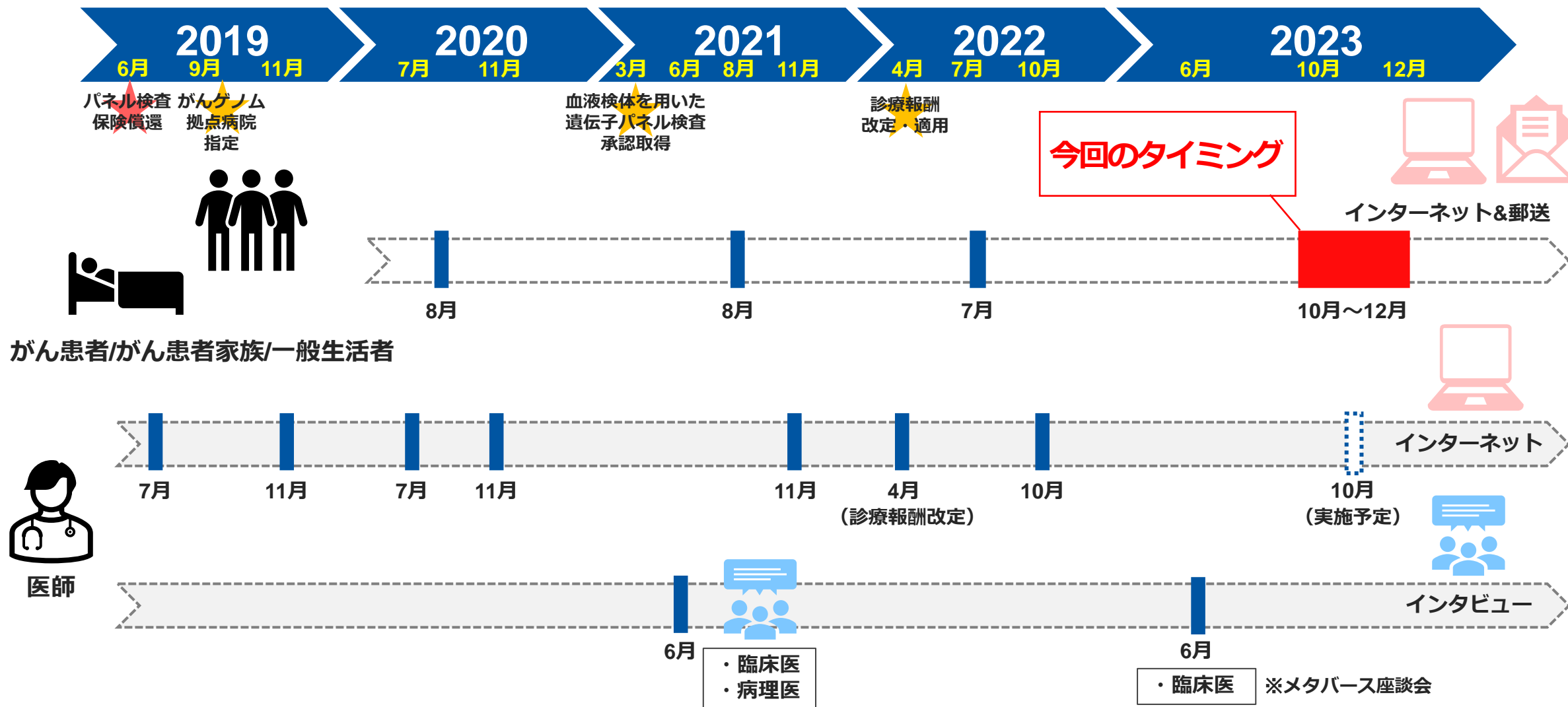
株式会社インテージヘルスケア

# 背景

---

- インテージヘルスケアは2019年6月から、がんゲノム医療/遺伝子パネル検査に関して、定期的に医師やがん患者さん/がん患者家族/一般生活者に対して様々な調査を行っている。
- 医師のがんゲノム医療に対する知識あるいは意識は重要な点だと認識している一方で、治療を受ける患者さんや家族へ向けた情報発信として、各市民公開講座や各種メディアでは“がんゲノム医療”が頻回に取り上げられている。
- しかしいざ実際に患者さんががん遺伝子パネル検査を主治医から提案されると**「ゲノム」「遺伝子」「家族性腫瘍」など専門性の高い内容に直面してしまう患者さんが多い**のも実情である。そのような患者さんが検査を受けるまで、どのような点に悩み、どのような情報を求めているのか等の量的なデータは乏しい。
- がん遺伝子パネル検査が保険診療として実装され4年が経過し、多くの課題が浮き彫りになってきた。治療到達率の低さを改善するため、オンライン治験や治療開始時に検査を行うための先進医療Bなど様々な取り組みが進む中、**患者起点を掲げる弊社は患者さんの声に耳を傾けその声を発信**していくことで、がんゲノム医療の発展に貢献したいと考えている。

# これまでの弊社ゲノム医療関連調査と本調査の実施タイミング



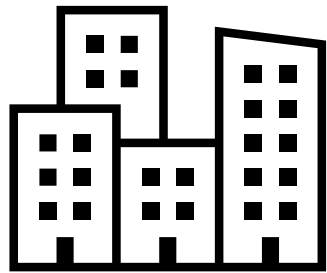
# 調査データの活用実績

製薬会社・医療機器会社への販売・利活用

アカデミア、官公庁への提供、説明会実施

弊社ウェブサイト掲載、ウェビナーでの発表

リリース、取材対応



※JSMO発表等でのデータ引用の実績あり

intage 株式会社インテージヘルスケア

TOPページ NEWS プレスリリース がんゲノム医療に関する医師調査...

NEWS

## がんゲノム医療に関する医師調査（第6回）

2022/03/29

血液による遺伝子パネル検査、メリットは患者負担の軽減  
普及への課題は、医師の作業負担軽減や臨床データの蓄積  
～ 全国の固形がん診療医1300名に「がんゲノム医療」に関する調査を実施 ～

当社は、全体的な固形がん診療医を対象に、がんゲノム医療に関する医師調査を実施しました。本調査は、「がんゲノム医療元年」と見られる2019年から継続的に実施しています。2021年調査の結果は、血液による遺伝子パネル検査の普及率向上が、多くの医師に実施した今回の調査結果から、同検査の実施状況や、医師の負担軽減や、臨床データの蓄積が明らかになりました。今回、がんゲノム医療を普及させるために実施した11回の調査の中でも、最も大きな成果を挙げました。

※1: 国で実施している固形がん診療医の調査結果

調査結果のポイント（固形がん診療医1300名のうち、がんゲノム医療を実施している病院の勤務医549名の回答より）

- 包括的ゲノムプロファイリング（CGP）※2を目的とした遺伝子パネル検査を実施した患者の割合がゆるやかに増加傾向にある。今回初めて聴取した「血液による検査」の実施率は1.4%
- 血液による検査が実施されているがん種は、子宮頸がんが最も多く5.1%
- 血液による検査に賛成することとして、45%の医師が「検査採取が容易で、組織の採取が難しい患者も検査可能」、43%が「検査結果（患者の負担が少なくて）」と回答。一方、4%の医師は「臨床データやエビデンス不足」を懸念としている
- 血液による検査を実施している医師の36%が「検査件数の増大」を懸念し、実施していない医師と比べると13ポイント異なる。実施率は検査件数やその後の治療までの経過にも関係した上で、より積極的な医師が賛成している

※2: Comprehensive Genomic Profiling (CGP)、腫瘍遺伝子パネル検査に関する用語として、腫瘍組織を用いた検査と区別するために血液由来の腫瘍細胞を用いた検査を指す

1. 包括的ゲノムプロファイリング（CGP）を目的とした遺伝子パネル検査を実施した患者の割合は、ゆるやかに増加傾向。その中で、今回初めて聴取した「血液による検査」は1.4%

包括的ゲノムプロファイリング（CGP）目的での保険診療での遺伝子パネル検査の実施患者割合

調査時期	実施患者割合 (%)
2019年11月 (n=595)	1.8
2020年6月 (n=504)	6.1
2020年11月 (n=593)	5.2
2021年6月 (n=594)	8.1
2021年11月 (n=549)	1.4

ミクスOnline

トップ 特集 経営/製品 新聞/医療 データ/ランニング リサーチ スキルアップ/キャリアアップ コンテンツ一覧

ホーム > ニュース > 血液による遺伝子パネル検査 進行再発固形がん患者の1.4%で実施 21年11月

## 血液による遺伝子パネル検査 進行再発固形がん患者の1.4%で実施 21年11月

公開日時 2022/03/30 04:52

血液検査によるがん遺伝子パネル検査が2021年8月に保険適用となってから3カ月後の11月時点で、同検査の実施患者割合が1.4%であることがインテージヘルスケアの調査でわかった。同検査が最も多く実施されていたがん種は子宮頸がんの5.1%で、次いで小児固形がん、悪性黒色腫となった。

当社は、がんゲノム医療ノ遺伝子パネル検査の浸透度把握を目的に、19年から継続的に調査を実施している。今回が6回目で、21年11月に調査した。

調査対象は固形がん診療医。有効回答数は1333人で、このうちがんゲノム医療を実施している病院の勤務医は549人。今回、この勤務医（549人）の調査結果を分析した。

包括的ゲノムプロファイリングを目的とした保険診療での遺伝子パネル検査の実施患者割合は7.1%だった。これは調査対象医師（549人）が加えている進行再発固形がんでがん期を後進している患者約2万6000人の中で、同検査を実施した患者の割合となる。前回21年6月調査は6.1%、その前の20年11月調査は5.2%で、緩やかに増加している。

21年11月調査では、初めて血液検査による遺伝子パネル検査の状況も調べた。その結果、血液による同検査は1.4%、これまでの組織検査による遺伝子パネル検査は5.7%だった。

血液による同検査を実施した上位10がん種は、子宮頸がん（実施患者割合5.1%、患者数237人）、小児固形がん（同3.1%、192人）、悪性黒色腫（同3.0%、197人）、胆のうがん（同2.9%、421人）、原発不明がん（同2.8%、215人）、卵巣がん（同2.6%、391人）、胆管がん（同2.3%、573人）、膵臓がん（同2.1%、479人）、肺がん（同2.0%、4493人）、肝臓がん（同1.8%、982人）——だった。

◎期待の上位に「低侵襲性」

血液による同検査への期待や懸念を聞いたところ、期待では「検査採取が容易で、組織の採取が難しい患者でも検査可能」（45%）、「低侵襲のため、患者負担が軽減できる」（43%）——などが上位に挙げられた。

◎検査実施医の36% 懸念点に「検査件数の増大」

一方で、懸念点は、「臨床データやエビデンス不足」（45%）が多かった。また、実際に血液による同検査を実施している医師に比べると、その36%が「検査採取が容易になることによる、検査件数の増大」をあげた。「検査件数の増大」は、血液による同検査を実施していない医師では23%にとどまり、同検査の実施医と未実施医との間に13ポイントの開きがあった。

当社は、過去の調査で、遺伝子パネル検査の後に掲載付けられている専門家による検討会議（エキスパートパネル）が負担との医師が9割近くいたとの結果を引き合いに、「検査件数の増大」が、医師の負担増という懸念につながっているのではないかと分析。「エキスパートパネル」での検討の効率化や時間の短縮を図るといった取り組みの検討なども重要と考えられる」としている。

# 患者 郵送調査概要

調査手法	郵送調査				
調査地域	全国				
使用パネル	プラメド保有医師パネル（弊社子会社）からの紹介				
対象者条件	<p>下記の医師の条件に合致した医師から、患者郵送調査調査票を受け取り、患者郵送調査の参加許諾を得た患者</p> <p>&lt;医師の条件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主治医として診療していて、保険診療にてCGP検査を実施した患者さんが1名以上いる</li><li>・そのうち、2023年10月～12月に来院予定であり、本アンケートの協力依頼が可能な患者さんが1名以上いる</li></ul> <p>&lt;患者の条件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保険診療としてCGP検査を受けたことがある* <b>*検査を受けた結果として治療につながったかどうかは問わない</b></li><li>・調査期間内に受診予定があり、かつ調査趣旨に賛同いただける方</li></ul>				
サンプル数	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>がん患者</th></tr></thead><tbody><tr><th>サンプル数</th><td>100s <b>*獲得目標</b></td></tr></tbody></table>		がん患者	サンプル数	100s <b>*獲得目標</b>
	がん患者				
サンプル数	100s <b>*獲得目標</b>				
調査時間	10-15分（弊社設問カウント 40問程度）				

# 本調査のリクルートについて

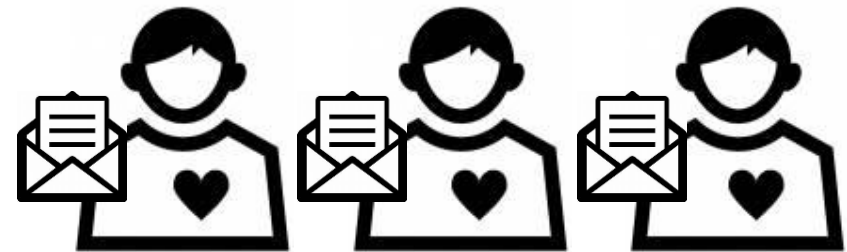
- 第3回調査（2022年実施）までインターネットを介して配信～回収を行っていたが、CGP検査の実施経験がある患者さんの出現率の低さから分析に足る有効回答数を得ることが難しかった。
- CGP検査にまつわるより詳細な情報を得るため**第4回調査から郵送調査に設計を変更**した。

## 調査の流れ

①スクリーニング兼WEBアンケートをインターネットを介して配信



③CGP検査を実施した患者さんに患者用アンケートを手渡し



②CGP実施患者数を回答いただき、そのうち調査実施期間に来院予定であり、患者用アンケートを手渡しいただける患者数を回答

④患者さんにアンケートを回答いただき、患者さんご自身でアンケートを無記名で投函いただく

# 聴取項目案

※下記以外にがん患者さんへ“がん”に関する質問を投げ掛けたいとの希望がありましたら、ぜひご相談ください。

CGP検査を実施した患者さんの声を把握可能、医師⇔患者間のギャップの有無も分析可能

⇒ ゲノム医療推進に関する患者の現状、ニーズ等を把握できる

⇒ 患者の視点を反映した情報提供ができる

## 実態把握

- ✓ 検査の説明を受けたタイミング、検査を実施したタイミング
- ✓ 検査を受けた病院（主治医の病院／それ以外）
- ✓ パネル検査の説明内容
  - ・ 資材等の使用・配布有無
  - ・ 医師以外のスタッフの関わり
- ✓ 検査結果を待つ間の通院頻度・治療有無
- ✓ 結果返却の時の説明内容
  - ・ 資材等の使用・配布有無
  - ・ 医師以外のスタッフの関わり
- ✓ 実施後の治療への反映
  - ・ その後の治療内容
  - ・ 何らかの治療選択肢があったが、治療に反映しなかった理由

## マインド把握

- ✓ 説明を受けた際の理解度について（検査前／結果返却時）
- ✓ 説明を受けた後の不安・懸念点
- ✓ パネル検査の満足度とその理由
- ✓ 費用についての印象
- ✓ オンライン治験について

## 情報入手に関して

\*検査説明後／結果返却後のタイミング別に聴取

- ✓ 主な情報入手経路
- ✓ 利用頻度の高い／信頼性の高い情報媒体
- ✓ 自身でどのような／どうやって情報を調べたか\*
- ✓ 知りたかったけど見つけられなかった情報\*
- ✓ 事前にこんなことを知っていたらよかったと思う情報

## FACE

年代／職業・就業状況／エリア／家族構成／既往歴／病院アクセス など

# ※参考：聴取項目案（2022年調査より）

※下記以外に、がん患者/がん患者家族/一般生活者へ“がん”に関する質問を投げ掛けたいとの希望がありましたら、ご相談ください。

カテゴリ	No.	聴取内容			
がん種	SC4	(患者本人/同居している家族が罹患している) がん種			
治療の状況	SC5	診断されるまでの経緯、検査から診断までの期間、治療状況			
	SC6	これまでの治療歴			
がんゲノム医療/がん遺伝子パネル検査の認知	Q1	がんゲノム医療、がん遺伝子パネル検査の認知状況（資料提示前）			
	Q2A	がんゲノム医療の認知状況			
	Q2B	がん遺伝子パネル検査の認知状況			
	Q3	がん遺伝子パネル検査を受けた経験/説明経験			
	Q4	コンパニオン診断薬、がん遺伝子パネル検査、DTC遺伝子検査の実施状況			
	Q4SQ1	(がん遺伝子パネル検査のみ) 説明あるいは検査を受けたタイミング			
	Q4SQ2	説明を受けた検査の詳細（コンパニオン検査 or がん遺伝子パネル検査）			
	Q4SQ3	説明はあったが、がん遺伝子パネル検査を実施しなかった理由			
	Q5	がんゲノム医療/がん遺伝子パネル検査について、ご存知の内容（自由回答）			
	Q10	がんゲノム医療/がん遺伝子パネル検査の認知経路			
	Q11	がんゲノム医療/がん遺伝子パネル検査に関して自身で調べた内容			
	Q13	上記を調べた際に用いた方法（インターネット、書籍など）			
	Q12	上記で「探したが見つけられなかった情報」「知りたかった情報」の内容（自由記入）			
がん遺伝子パネル検査の実態（実際に検査を受けた方のみ）	Q6	(がん遺伝子パネル検査のみ) 医師あるいは医師以外の医療従事者から説明を受けた内容			
	Q7	上記説明内容の理解度			
	Q7SQ	がん遺伝子パネル検査を受けることを決めた理由			
	Q8	説明を受ける際に使用した資料、冊子、パンフレットの種類			
	Q9	がん遺伝子パネル検査を受けたその後の変化			
	Q9Q1	がん遺伝子パネル検査への満足度 上記回答理由			
<b>がんゲノム医療・遺伝子パネル検査に関する資料を提示</b>			<b>高額療養費の説明資料を提示</b>		
がん遺伝子パネル検査の認知	Q14	がん遺伝子パネル検査に期待すること	がん遺伝子パネル検査の認知	Q21	高額療養費制度の認知と利用状況
	Q15	がん遺伝子パネル検査に懸念すること		Q22	遺伝子パネル検査（本人負担）の印象と検査に対する意向
	Q16	(受けることを選択できた場合) がん遺伝子パネル検査に対する実施意向		Q23	がんゲノム医療・がん遺伝子パネル検査に関してもっと知りたいと思う内容
	Q17	上記の理由（自由回答）	情報入手経路	Q24	「がん」に関する情報収集する際の情報源、利用頻度が高い内容、信頼度が高いと思う内容
	Q18	遺伝性腫瘍が見つかる可能性についての認知度		Q25	上記の信頼度が高い情報源の理由（自由回答）
	Q19	遺伝性腫瘍が見つかる可能性に対する懸念		Q26	インターネットを用いる際に利用するサイト
	Q19SQ1	遺伝子パネル検査の決め方に対する意向		Q27	今後、がんゲノム医療について利用したい/参加したいもの
	Q20	遺伝子パネル検査の保険点数（費用）に対する印象	FACE	F1	これまでに使用したことがある抗がん剤
				F2	性別
				F3	年代
		F4		家族構成	
		F5		居住エリア	
		F6		現在の業務状況	



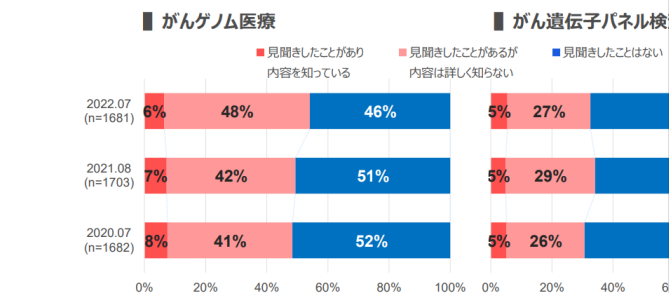
# ※参考：2022年調査の概要（公開レポート）

## <第3回調査(22年7月)> <https://www.intage-healthcare.co.jp/news/report/d20230131-2/>

### がんゲノム医療、がん遺伝子パネル検査の認識

- この3年間で大きな変化は認められなかった。
- がん患者、がん患者家族とともに、**転移・再発の経験がある方が**「見聞きたこと」割合が多い傾向であった（データ非表示）。

Q. あなたはこれまでに「がんゲノム医療」「がん遺伝子パネル検査」について見聞きたことはありますか？



TOTAL (n=1681)

株式会社インテージヘルスケア

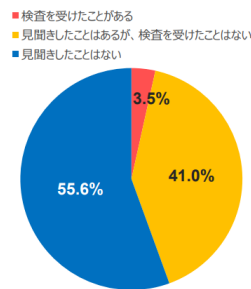
Copyright

### がんゲノム医療/がん遺伝子パネル検査の実施状況（進行・再発がん患者）

前頁のデータのうち、進行・再発がん患者におけるデータを示す。

- 検査を受けた・見聞きたことがある割合は増加したが、半数以上の進行・再発患者はアンケート実施時に「見聞きたことはない」と回答をした。

Q. あなたご自身は、これまでにがん遺伝子パネル検査を受けたことがありますか？



進行・再発がん患者 (n=144)

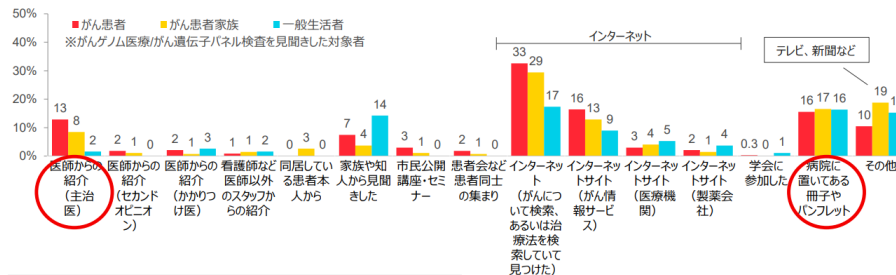
株式会社インテージヘルスケア

Copyright

### がんゲノム医療/がん遺伝子パネル検査の情報経路

- 実際にごんゲノム医療/がん遺伝子パネル検査「受けた」と回答をしたがん患者・がん患者家族は「主治医」からの紹介が最も多く、インターネットを回答した割合は少なかつた。検査を「受けていない」がん患者やがん患者家族では、「インターネット」を情報経路としてあげた割合が多かつた（データ非表示）。

Q. がんゲノム医療/がん遺伝子パネル検査に関して見聞きた経路・媒体はなにか？



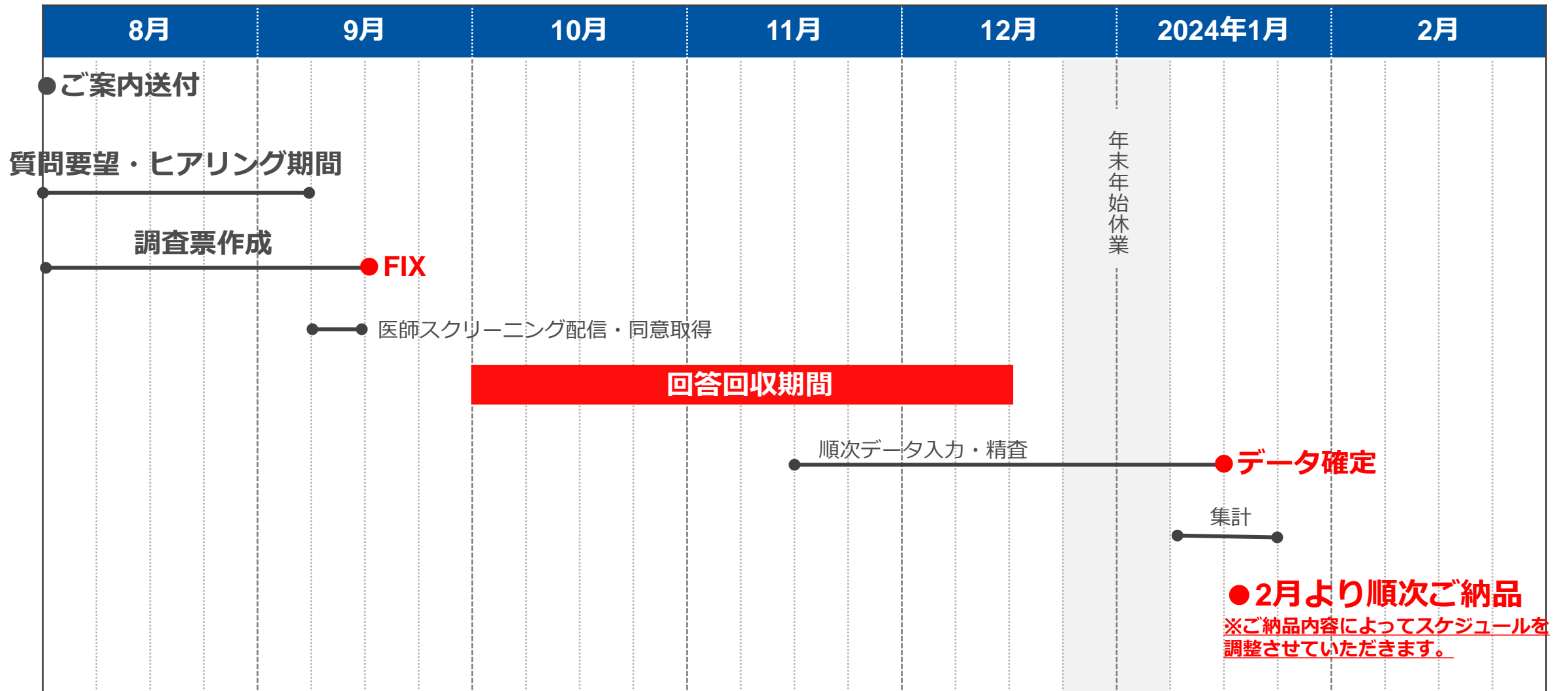
がん患者 (n=335)、がん患者家族 (n=272)、一般生活者 (n=190)

株式会社インテージヘルスケア

Copyright © INTAGE Healthcare Inc. All Rights Reserved. 15

# スケジュール・費用

# 第4回調査 タイムライン



※報告書・アウトプットは、データ/アウトプット確定後 2週間を目安にご納品となります。

# 納品物、調査費用

## ■ ご納品物 ※以下、標準的な内容を記載。別途、ご希望があればご相談ください。

- 調査票
- ローデータ
- クロス集計表

いずれもexcelファイルでのご納品となります。

## ■ 費用

	設問カウント	サンプル数	費用（税抜）	費用（税込）
患者調査	～40問程度	約100s	900,000	990,000

- 《Note》
- \* 上記の金額に、英訳費は含んでいません。
  - \* クロス集計表の分析軸は、最大3軸までのご希望の軸を費用に含んでいます（事前相談）。これを超える場合には、別途3万円/軸をいただきます。
  - \* 上記の納品物以外に報告書あるいは資料（PPT作成や別のアウトプットが必要な場合）、内容に応じて作成費を計上します（10万円～）、同時に納期についても別途設定をいたします。
  - \* 貴社特別質問（クローズド質問）は1問につき30万円～、全体のボリュームによって追加が難しい可能性もございます。

# APPENDIX

- ・がんゲノム医療に関する**医師**調査
- ・弊社サービスのご紹介

# 第8回医師調査を2023年10月に実施予定です

※参考 調査設計（2022年10月調査）

調査手法	WEB（インターネット調査）																		
調査地域	全国																		
使用パネル	プラメド保有医師パネル（弊社子会社） *DCFコードによるターゲットマッチングも可能																		
対象者条件	<p>&lt;共通条件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 100床以上の施設勤務医</li> <li>・ Doctor Mindscape 2021 「<b>進行または再発の固形がん患者*</b> 1名以上に抗がん剤*による治療を実施」</li> </ul> <p>*抗がん剤: 化学療法、分子標的薬、がん免疫療法、内分泌療法</p> <p>&lt;小児科医 以外&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がん種問わず、直近1年間に固形がん患者<b>5名以上</b>に対して抗がん剤治療を実施</li> </ul> <p>&lt;小児科医&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がん種問わず、直近1年間に固形がん患者<b>1名以上</b>に対して抗がん剤治療を実施</li> </ul>																		
サンプル数	<p style="text-align: right;">*プラメドパネル内の各セグメント医師構成比(推計値)に合わせ、割付数を設定した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>TOTAL</th> <th>がんゲノム医療 中核拠点・拠点・連携病院</th> <th>左記以外の がん拠点病院</th> <th>その他施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年10月調査</td> <td>1328s</td> <td>503s</td> <td>258s</td> <td>567s</td> </tr> <tr> <td>※21年11月実績</td> <td>(1333s)</td> <td>(549s)</td> <td>(248s)</td> <td>(536s)</td> </tr> </tbody> </table>					TOTAL	がんゲノム医療 中核拠点・拠点・連携病院	左記以外の がん拠点病院	その他施設	22年10月調査	1328s	503s	258s	567s	※21年11月実績	(1333s)	(549s)	(248s)	(536s)
	TOTAL	がんゲノム医療 中核拠点・拠点・連携病院	左記以外の がん拠点病院	その他施設															
22年10月調査	1328s	503s	258s	567s															
※21年11月実績	(1333s)	(549s)	(248s)	(536s)															
調査時間	15～20分（弊社設問カウント～70問程度）																		

# 第8回医師調査を2023年10月に実施予定です

※参考 調査設計（2022年10月調査）

主要な各がん種で十分なサンプル数があり、貴社が注目するがん種等による分析にも対応が可能！

	21年7月	21年11月	22年10月
肺がん	366s	358s	374s
乳がん	199s	225s	188s
胃がん	463s	489s	392s
大腸がん	463s	506s	424s
肝細胞がん	249s	265s	247s
胆嚢がん	173s	206s	181s
胆管がん	240s	267s	222s
すい臓がん	349s	353s	307s
腎細胞がん	235s	207s	198s
前立腺がん	277s	258s	242s
卵巣がん	87s	91s	76s
悪性黒色腫	46s	48s	69s
小児固形がん	67s	60s	63s
原発不明がん	102s	104s	125s

- 「直近1年間に主治医として5名以上に抗がん剤治療\*を実施した進行再発固形がん」のがん種別回答医師数  
\*小児がんのみ「1名」に緩和

## <その他聴取がん種>

脳腫瘍／頭頸部がん／舌がん／甲状腺がん／唾液腺がん  
／悪性胸膜中皮腫／食道がん／腎盂・尿管がん／膀胱がん  
／精巣がん／子宮頸がん／子宮体がん／皮膚がん／悪性骨  
軟部腫瘍／希少がん

※過去調査の回収実績であり、本調査のサンプル数確約ではない点にご注意ください。

# 第8回医師調査を2023年10月に実施予定です

※参考 調査設計（2022年10月調査）

※より詳細な内容が必要な場合はお問い合わせください

## 浸透度

- ✓ がんゲノム医療・検査 認知度(全体)
- ✓ 22年4月 診療報酬改定
- ✓ パネル別認知度・検討・実施有無

## 実態把握

- ✓ 単一遺伝子検査（CDx）の実施状況
- ✓ がん遺伝子パネル検査実施患者数
  - ✓ パネル別内訳
  - ✓ タイミング別内訳（初回／標準治療実施後）
- ✓ 実施後の治療への反映
- ✓ 検査結果の返却期間（TAT）
- ✓ 既存CDxとの使い分け
  - ✓ NSCLCのCDxやMSI（領域横断）における使い分け
- ✓ CGP検査の対象となる患者割合

## マインド把握

- ✓ 遺伝子パネル検査に関する課題・懸念点
  - 組織検体・血液検体
  - 上記の使い分け
- ✓ エキスパートパネル（EP）に関する課題
- ✓ 診療報酬改定による影響
- ✓ **CGP検査の実施意義**
- ✓ 今後の実施意向

## 情報入手に関して

- ✓ 情報入手経路（実態）
- ✓ 好ましい情報入手経路
- ✓ どのような情報を求めるか

## FACE

施設情報／診療科／がん種別持ち患者数／年代／エリア など

## ※参考 聴取がん種

脳腫瘍、頭頸部がん、舌がん、甲状腺がん、唾液腺がん、肺がん、乳がん、悪性胸膜中皮腫、食道がん、胃がん、大腸がん、肝細胞がん、胆のうがん、胆管がん、膵臓がん、腎細胞がん、腎盂・尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、精巣がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、皮膚がん、悪性黒色腫、悪性骨軟部腫瘍、小児固形がん、希少がん、原発不明がん、他（約30がん種）



リサーチ、プロダクト、マーケティング部門だけでなく、MA/MSLやR&D部門でもご活用いただいています。

### ◆ 過去調査結果レポート ※一部内容のみ

以下の弊社ウェブサイトより閲覧・ダウンロードが可能

<https://www.intage-healthcare.co.jp/service/research/rx/oncology/>

### ◆ 過去の調査結果活用事例 ※公開可能な内容のみ記載

- 企業内あるいは企業主催セミナー等での**データ引用**
- 抗がん剤開発時におけるバイオマーカー検査プラットフォーム検討の**判断材料**
- 医療機器開発における国内での**検査浸透・フォーキャスト検討**
- あるがん種に対する抗がん剤に紐付く**CDxの浸透・フォーキャストモデルへの反映**
- ある抗がん剤における**リソース配分の検討・戦略策定** (source of business)
- 国内におけるCDxあるいはCGP検査の実態をglobalへ説明する際の**資料作成**
- 弊社社員による**講演会の依頼**

CDxが必要な抗がん剤開発、プロモーション活動におけるリソース配分やフォーキャストモデル等へ、本データを利用した個別相談、コンサルテーションも実施しています。

# “オンコロジー領域” マルチクライアント調査

※各調査タイトルをクリックすると、弊社ウェブサイト上で公開するレポートを閲覧・ダウンロード可能。



がんゲノム医療  
シリーズ



医師

## ◆ がんゲノム診療に関する調査 全7回

直近1年間に固形がん患者5名以上に対して抗がん剤治療を実施した臨床医におけるがんゲノム医療、  
遺伝子パネル検査に関する認知・実態などを把握。30種がん種、保険収載済みを含む遺伝子パネル検査12種に関して聴取

[第3回 \(2020年7月実施\)](#) [第4回 \(2020年11月実施\)](#) [第5回 \(2021年6月実施\)](#) [第6回 \(2021年11月実施\)](#)

**NEW!!** [第7回 \(2022年10月実施\)](#) ... 医師 1,328サンプルの回収

## ◆ がんゲノム診療に関する調査 (2022年診療報酬改定)

2021年11月実施調査回答者を対象に、897名から診療報酬改定に関する認知と今後の検査実施意向などを聴取

※**肺がんにおけるOncomine DTTxとAmoyDxの最新状況も把握。**

## ◆ がんゲノム診療に関するインタビュー調査 第1回 (2021年6月実施)

がんゲノム医療中核拠点病院、拠点病院、連携病院に勤務する臨床医、病理医を合わせ14名に対してヒアリングを実施。

※弊社オンラインセミナーにて結果を公表済。

## ◆ 患者・一般者 がんゲノム診療に関する意識把握調査

がん患者等に対する“がんゲノム医療”の認知を把握するための調査

[第1回 \(2020年7月実施\)](#)

[第2回 \(2021年8月実施\)](#) ... 患者/家族/一般生活者 およそ1500s

## ◆ CAR-T療法の実態把握調査

3製剤となったCAR-T細胞療法について実態と各製薬企業の動向を把握。  
定量 (257サンプル)、定性 (20サンプル) から情報を入手。

[2020年10-12月実施](#)

[2021年8-9月実施](#)

## ◆ CAR-T細胞療法対象患者の紹介・受け入れに関する実態把握調査

血液内科医に対してCAR-T細胞療法の取り扱い、患者紹介・受け入れに関する実態と患者の紹介・受け入れに  
関する両者の問題点を把握。 <有効サンプル数> 医師: 226サンプル

## ◆ 腫瘍内科医の実態把握調査 (2021年3月実施)

腫瘍内科を旨としたきっかけや、やりがい・不満、製薬企業評価などを網羅した“オンコロジー領域担当者必見”の内容が満載です。

<有効サンプル数> 医師: 110サンプル



患者/家族/  
一般消費者



CAR-T  
シリーズ

その他

# インテージヘルスケアグループの総合力

## ソリューション

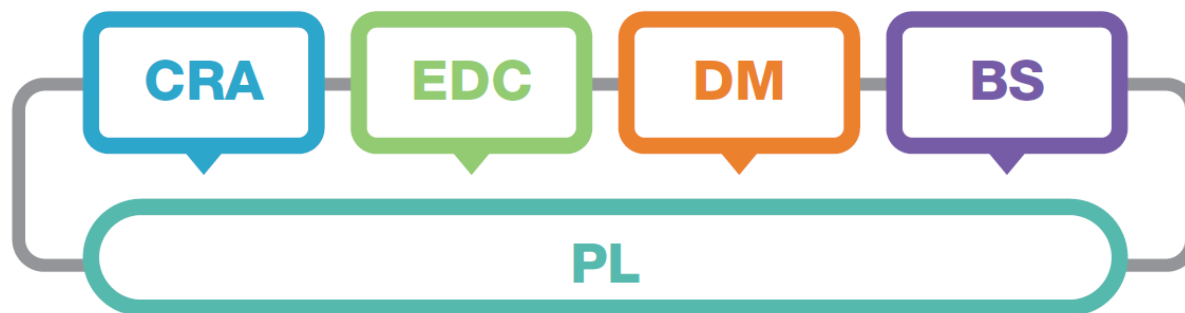
 <b>intage</b> 株式会社インテージヘルスケア マーケティング リサーチ事業		CRO事業		 株式会社協和企画 医療専門広告		 JMIRI 株式会社医療情報総合研究所 処方情報分析	
一般用・医療用医薬品、 医療機器 マーケティング リサーチ		医薬品開発 製造販売後調査 安全性業務支援		エデュケーション プロモーション コミュニケーション コンベンション		処方情報分析 患者・薬剤師調査 患者啓発 (医薬品の適正使用)	

## アセット

医療情報データ	有害事象データベース (FAERS、JADER)			
	調剤レセプトデータ (JMIRI、Mediterrnd)		健康保険レセプトデータ (Mediscope)	
	MRプロモーション関連データ 治療実態データ 医療消費者・患者データ			
ネットワーク	医師パネル	約81,000名	患者パネル	約680,000名
	医療・福祉関係者パネル	約51,000名	海外医師パネル (中国・韓国)	約50,000名
	全国一般用医療パネル調査	約3,200店舗		

## インテージヘルスケアのGCPサービス

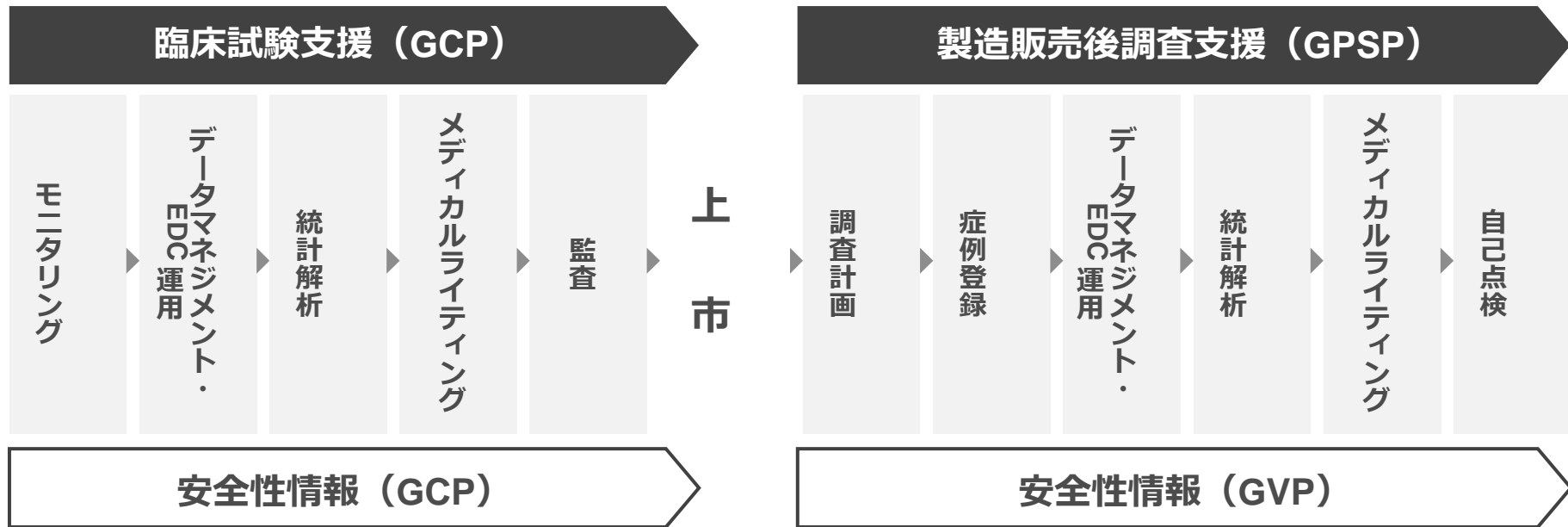
# “One-Team”



各機能担当者が1つの部に所属するプロジェクト型組織。  
縦割りの組織型よりも意思決定が早く、プロジェクト対応力が強い。

# CROのサービス&ソリューション

- 25年以上にわたるCRO業務の経験・実績により蓄積された、幅広い診療領域や試験・調査規模に対応するノウハウを生かした提案型のサービスを提供
- PMSにおける確かな受託実績を有し、自社開発EDCシステムADDINや進捗管理システムなどのIT基盤に加え、PMSモニタリング、BPO（契約書管理、流通管理等）などのソリューションも充実



◆ 臨床試験支援 (GCP)

EDC構築から申請データ  
DATATRAK、MARVIN、Viedoc、RAVE、Medrio

◆ 製造販売後調査支援 (GPSP)

データマネジメント/EDC運用  
ADDIN・Rave・PMN・Inform・Viedoc





臨床試験・研究支援のあらゆるシーンで、高品質なサービスをご提供。  
豊富な経験より、効率的な業務運用をご提案いたします。

◆ 経験豊富な人材

- ・臨床試験業務経験者によるご提案と効率的な業務運用を実施  
企業治験、医師主導治験、特定臨床研究、倫理指針、先進医療B etc.

◆ 試験に合わせ、フレキシブルに対応

- ・治験、研究、医薬品、医療機器、再生医療等製品等、幅広い試験に対応

◆ 医師主導治験・臨床研究をトータルでサポート

- ・各工程のプロジェクトリードに経験豊富な人材を配置し試験準備から終了までのスムーズな試験運用及び各規制に沿った品質確保  
医師主導治験、臨床研究、30試験以上多数支援（新規メンバーの経験実績）

◆ 対応可能なEDCシステム

DATATRAK、MARVIN、Viedoc、RAVE、Medrio

### 臨床試験支援（GCP）



### 安全性情報（GCP）



## Healthier Decisions

我々は情報に命を与え、医療を楽しむ人、医療を提供する人、  
健康を願うすべての人々が納得の選択をするための力となります